

観光まちづくりの実践

— 住んでよし、訪れてよしの魅力ある都市を目指して —

プログラム

第1日目：1月27日(火)

まちの個性を活かしたまちづくりを発想する

- 基調講演 (10:30-11:20)
「観光まちづくりの基本的な考え方」
西村 幸夫 (東京大学先端科学技術研究センター 教授)
- 講演 (11:20-12:10)
「観光庁の取組みについて」
水嶋 智 (観光庁観光地域振興部観光資源課長)
- 講演 (13:20-14:10)
「中国人観光客から見た日本の観光資源」
毛 丹青 (作家・YOKOSO! JAPAN 大使)
- 講演 (14:10-15:00)
「観光ガイドブック編集者から見たまちの魅力」
楓 千里 ((株) JTBパブリッシング 法人事業部長)
- 事例報告 (15:15-16:00)
「まち歩き観光ガイドのしくみづくり」
— まち歩きが観光を変える「長崎さるく」の取組みについて —
茶谷 幸治 ((株) 経営企画センター 代表取締役)
- 事例報告 (16:00-16:45)
「都市の産業集積を活かした観光街づくりの展開」
— 川崎市における産業観光の取組みについて —
伊藤和良 (川崎市 経済労働局 産業振興部長)

第2日目：1月28日(水)

まちの魅力を高める観光まちづくりを考える

- 講演 (10:00-11:00)
「観光まちづくりの最新動向」
梅川 智也 ((財) 日本交通公社 研究調査部長)
- 事例報告 (11:00-11:45)
「市民協働のまちづくり型観光」
椎名 喜予 (香取市 市民環境部 市民活動推進課長)
- 事例報告 (13:00-13:45)
「河川、街路等の公共空間を活用した広島市オープンカフェ事業」
松波 龍一 ((株) 松波計画事務所 所長)
- 事例報告 (13:45-14:30)
「温泉地再生手法としてのハットウ・オンパクとは」
— 地域資源を活用した参加体験プログラム —
鶴田 浩一郎 ((株) 鶴田ホテル 代表取締役)
- パネルディスカッション (14:45-16:55)
「まちづくりにおける「観光」の活用方策」
コーディネータ：安島 博幸 (立教大学観光学部 教授)
パネリスト：梅川 智也 / 椎名 喜予
鶴田 浩一郎 / 松波 龍一

* やむを得ない理由により、内容・講師が変更となる場合がございます。

- お申し込み方法：
裏面の申込書または本会 Web サイトより、必要事項をご明記の上、お申し込み下さい。参加票と合せて、詳細を返信致します。
- お申し込み期日：2009年1月19日(月)

魅力ある都市を目指して、従来の名所・旧跡が少ない都市においても、まちづくりの取組みとして地域固有の資源を掘り起こし、地域資源を保全・活用して磨きをかけることによって、多くの人々を惹きつける観光まちづくりが各地で行われています。また、観光立国に向けた取組みとして、政府は2008年10月に「観光庁」を設置しました。しかし、その目的は地方の現場での取組みがなければ、達成できません。

そこで、今回の都市計画セミナーでは、個性的な観光まちづくりを展開している先進的な試みを取り上げ、磨きをかける地域資源の探し方や、都市計画と連携した地域資源の保全・活用方法を学び、まちの魅力を引き出す観光まちづくりの実践に結びつけることを趣旨とし、企画致しました。

会員の皆様や地方自治体、民間企業、NPO 団体の方々のご参加をお待ちしております。

- 会期：
2009年1月27日(火)、28日(水)
- 会場：
早稲田大学国際会議場
[東京都新宿区西早稲田 1-20-14]
- 主催：
社団法人 日本都市計画学会
- 後援：
国土交通省、観光庁
- 参加費：
・2日間共通
会員 17,000円 / 非会員 19,000円
(学生 * = 5,000円 / 7,000円)
・1日のみ
会員 9,000円 / 非会員 10,000円
(学生 * = 3,000円 / 4,000円)
* 学生価格は修士課程まで

【会場周辺案内図】



最寄駅：東京メトロ 東西線 早稲田 (徒歩 10分) / 有楽町線 江戸川橋 (徒歩 15分)
都電荒川線 早稲田 (徒歩 5分)